

《健康相談》

事例36 相談者：患者の家族

相談内容	<p>高齢の母親が、大腸のポリープを検診で指摘された。 入院による手術をしないで、外来でポリープだけを簡単に取る方法があればそうしたい。どうすればよいか。</p>
対応	<p>検査を受けた診療所の医師に相談して、今後の治療方針について決めるようアドバイスした。 一般的には、病状によって内視鏡的に切除出来る場合と、手術が必要な場合があるので、主治医に説明を受け、納得した上で治療して貰った方が良いと伝えた。</p>
より良い医療のための提案	<p>【 県民・患者に向けて 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ疾病でも、その部位や程度、個人の健康状態や年齢等でも治療内容は異なってくる場合があります。疾患や治療に関する具体的なことは、罹り付け医等に相談してみましょう。

事例37 相談者：患者本人

相談内容	<p>テレビを観たら、歯肉に異常があるときは糖尿病の場合があるとでていた。2週間程前から歯肉にできものが出来て、糖尿病の恐れがあるのだろうか。この前の健康診断では、血液検査をしたが糖尿病とは言われなかった。</p>
対応	<p>まず、歯科診療所や歯科口腔外科を受診し、診察して貰うよう伝えた。 そして、内科的な病気に関係しているかどうかについて、相談してみるようアドバイスした。</p>
より良い医療のための提案	<p>【 県民・患者に向けて 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビやインターネット等、病気に関する様々な情報が流れています。同じ症状でも様々な病名は考えられます。自分で判断せず、不安に感じている時は、罹り付けの医師に相談してみましょう。

事例 3 8 相談者：患者本人

相談内容	1歳の孫が携帯ストラップを飲み込んだようだ。はっきりしないが、携帯ストラップが見あたらないのでそう思う。 このままにしておいてよいのか。
対応	材質を確認したら分からないということであった。 材質によっては便にそのまま排泄されるものもあるが、形状・材質によっては問題になる場合もあるので、罹り付けの小児科に相談した方が良いとアドバイスした。
より良い医療のための提案	【 県民・患者に向けて 】 ・誤飲は形状・材質によって危険な場合があります。緊急と思われる場合は、直ちに病院を受診することをお勧めします。

事例 3 9 相談者：患者の家族

相談内容	娘の婿の相談である。アルコール中毒で以前治療していたが、現在は病院へ行かなくなっている。酒をやめていたと思っていたら、隠れて飲んでいて、最近はお歩くこともなくなり、ほとんど寝てばかりいて、仕事も辞めてしまった。糖尿病もあるといわれていたし、どうすれば良いのか心配である。
対応	現在治療を中断して毎日お酒を摂取しているのであれば、病状が悪化している可能性があるため、早めに病院を受診することを勧めた。 また、一般的に飲酒は糖尿病に悪影響を及ぼすため、治療せずにこのような生活を続けていると大変危険なので、早めに受診させるようアドバイスした。
より良い医療のための提案	【 県民・患者に向けて 】 ・慢性疾患については、受診を続けることが一番の治療となります。継続した治療が受けられるよう、家族の協力をお願いします。

【基本的な対応】

- ・ 健康相談の場合は、一般的な内容しか説明出来ないことを伝え、具体的な内容については、主治医やかかりつけ医に相談するように勧める。

